

南越前町総合計画を策定

まちづくりの目標であるまちの将来像を掲げ、総合的・計画的に事業を進めていくための指針となる「南越前町総合計画」が、3月8日から開かれた町議会定例会で可決されました。

この計画は「基本構想」、「基本計画」、「戦略プラン」により構成され、今後10年間の構想や施策をまとめ、合併時の「新町建設計画」の理念を継承、目標年次を平成28年度としています。

南越前町の将来像＝まちづくりの基本理念

『～海と緑と歴史の恵みに抱かれて、出会いから活力の花ひらく町～』

まちづくりの目的は、町民の誰もが豊かに暮らすことができる環境や条件づくりを計画的に推進していくことにあります。社会環境に適応しつつ、個性あるまちづくりを進めるため、計画の理念を「海と緑と歴史の恵みに抱かれて、出会いから活力の花ひらく町」と設定、

海と緑

海と森の豊かな自然に囲まれて暮らす私たちの地域で

歴史の恵みに抱かれて

町が古くから陸と海の交通の要衝として栄え、街道や港に行き交う人々で地域が創られてきたことからこれらを活かし

出会いから活力の花ひらく町

新しい町が出会いから多様な個性を開き、全ての人々が元気でいきいきと暮らすことができる活力あふれる町となることを目指しています。

■基本構想

まちづくりに向けた指針と、それを実現するために必要な施策の大綱を示したものです。基本構想には、町の将来像や計画の基本指針などが上げられています。

定住人口の目標は12,000人

人口の推移は、全国でも現在の1億2千8百万人をピークに人口の減少期に入るとされる中、本町の人口も、少子化現象や若者の流出などで減少は続き、平成17年国勢調査では12,274人となっています。

平成27年には11,652人(5%減)と推計される中、就業機会の開拓や・Uターンの増加を促すなど維持に努め、12,000人としました。

交流人口の目標は100万人

交流人口は、様々な分野で人々が活発に交流することは、町に与える経済効果など町の活力につながるものとし、平成10年の91万人をピークとしている交流人口の目標を100万人としました。

ゾーン別まちづくり

街道と海岸に沿った町の特性を活か

かしたまちづくりを推進するために、水の生まれる森、エリア、歴史の街道、エリア、海を育てる森、エリア、越の海文化、エリア、安らぎとつるおいの里、エリアと新町まちづくり計画に設定した5つのまちづくりエリアを継承し、この町の特性に合わせた4つの交流軸で、地域内の交流の活発化、隣接地域との連携を深めます。

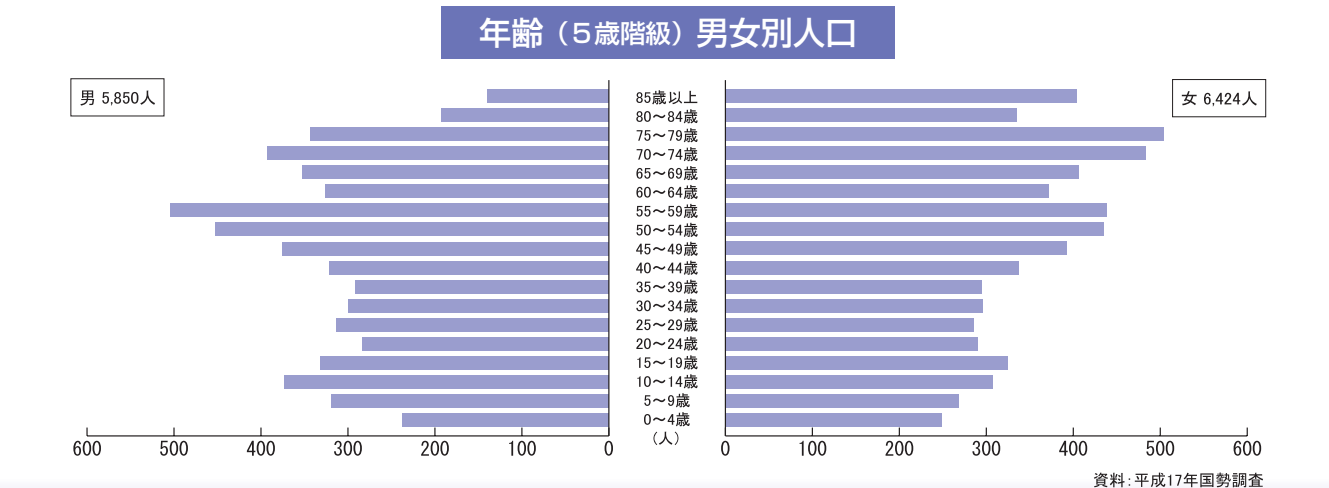
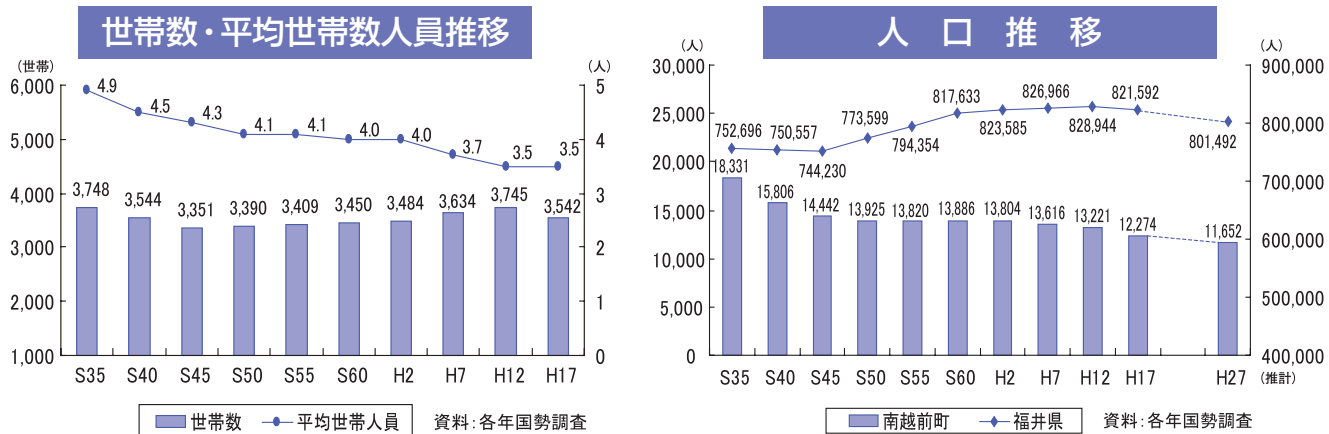
■基本計画

基本構想を実現するため、現状と課題を捉え、まちづくりの基本理念とキーワードのもと、まちづくりの5つのプロジェクトを定め(体系図)、基本的な施策や事業を総合的・一体的に定めたものです。

■戦略プラン

基本計画に掲げる施策を実施するための事業計画を3年計画で策定するもので、平成19年度から21年度までの事業計画を具体的に上げていきます。この戦略プランは、毎年度向こう3年の計画でローリング方式により策定していきます。

南越前町の背景



総合計画策定

総合計画審議会が答申

2月14日、南越前町総合計画審議会諸山廣多会長が、増澤町長に南越前町総合計画の答申を行いました。

この総合計画の答申は、これからのまちづくりを行っていく中で、町民と町が協働で取り組んでいく「総合的な指針」となる計画を、全体会議や小委員会など14回の会議を行ってまとめたものです。

諸山会長は、「町民参加によるまちづくりを推進すること」、「総合計画の実現に向けて計画的に実施すること」、「財源や財政基盤を確保していくこと」、「透明性と説明責任を確保すること」、「新町の



速やかな一体感を醸成すること」の意見を付して答申書を増澤町長に手渡しました。増澤町長は「行政の主役は住民。答申に従い町の発展に努めます」と答えました。

基本計画策定までの経過

南越前町総合計画の策定は、町議会議員や学識経験者、町内の各団体等の代表者など20人で構成された総合計画審議会が5回の全体会と総務企画、厚生教育、産業建設の各小委員会にて審議されたとともに、平成18年2月には中学生以上を対象とした住民意向調査を実施、町民の皆さんからのご意見やご要望もいただきました。



まちづくりの体系

「南越前町総合計画」は、新時代にふさわしいまちづくりの方向性を示し、町民が郷土愛を育み、「町民との協働」のなかで、みんなが一緒に力を合わせて創り上げるまちづくりの指針として策定しました。

この総合計画を実現するための基本的なキーワードは、「対話」「調和」「融和」。

これらを根本にすえた行政サービスの提供を進め、よく話し合っ政策に取り組み、全体が程よく釣り合ってまとまりながら、心を溶け合わせ、てひとつになって、住民や地域社会が主人公の新しいまちを築いていく必要があります。

今後、この総合計画を進めるにあたっては、地域に根ざす、それぞれ

の歴史・文化・伝統を生きし、町民の皆様の参加・参画・協働による効果的な施策を展開するとともに、行政基盤の強化に努め、豊かでゆとりのある生活が実感できる魅力的で活力あるまちづくりを進めていきます。

この計画の策定にあたり、町民意識調査に貴重なご意見、ご提案を賜

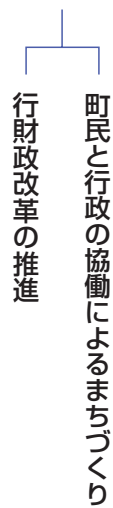
りました町民の皆様をはじめ、熱心なご審議をいただきました審議会委員の皆様並びに関係各位に対しまして心から感謝申し上げます。

※総合計画および総合計画《概要版》を町ホームページに掲載していますので、ぜひご覧ください。

■問合せ 企画財政課 TEL 47-80012

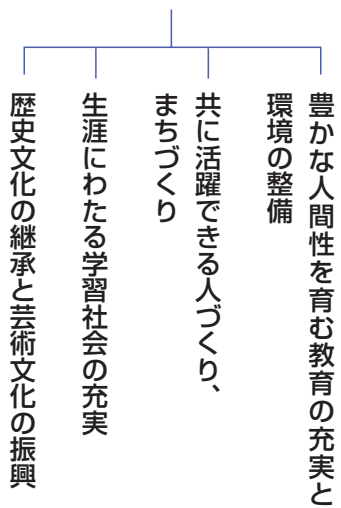
みんなが考え、みんなで取り組むまちづくり

町民の主体性と創意工夫で、自らまちづくりを担うため町民参画の機会を充実し、開かれた協働のまちづくりを進めます。また、事務事業の見直し、施設の統廃合、定員の適正化、住民負担の適正化などにより効率的な行財政運営を進め、町民のニーズに対応した質の高いサービスを提供します。



みんなで人と文化を育むまちづくり

生涯をとおして学習できる教育サービスの提供や、豊かな人間性をはぐくむための学校教育や学校教育施設の充実を図ります。また、歴史や伝統文化の保存と活用に努めます。



基本理念

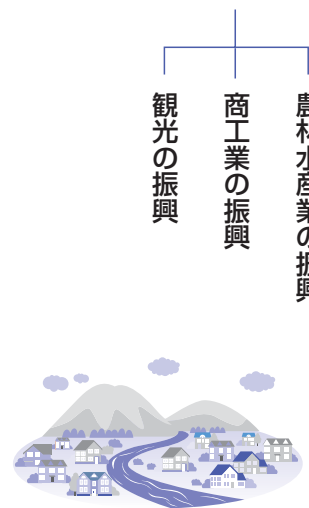
海と緑と歴史の恵みに抱かれて、出会いから活力の花ひらく町

キーワード 三つの「わ」

対話 調和 融和

みんなが生きいきと働けるまちづくり

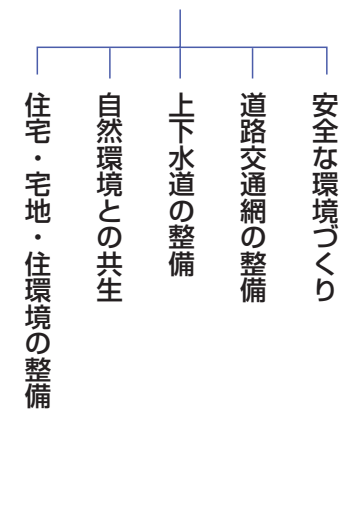
町民の生活基盤の安定を図り、活力あるまちづくりを進めるため、農業、工業、商業の時代に即した振興を図ると共に、環境の保全に配慮しつつ、地域特性を生かした産業基盤や観光基盤の整備と充実を進めます。



- ・南越前地区の中山間地域総合整備事業を進め健全な農業経営を目指す。
- ・森林基幹道（今庄・池田線、越前南部線）を整備する。
- ・農道、林道や漁業関連施設の整備など農林水産業を支える基盤の充実を図る。
- ・商工業者に対する資金の貸付や利子補給を行う。
- ・企業誘致を進めるため用地取得の助成などを行う。
- ・甲楽城海岸にマリナーパークを整備し観光の振興を図る。
- ・観光客を誘致するため各種観光イベントの開催と観光PRを行う。

みんなが安心して暮らせる快適なまちづくり

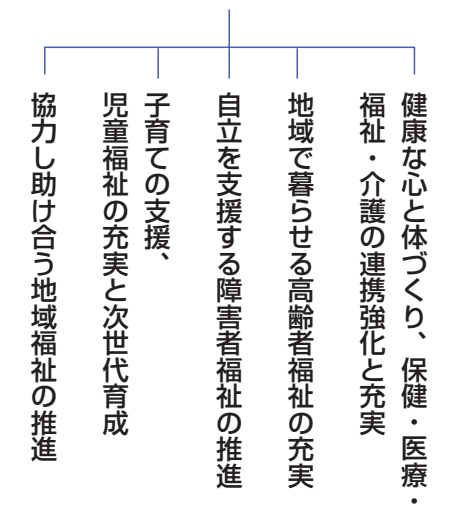
水と緑に恵まれた本町のすばらしい環境を生かしたまちづくりを基本とし、適正な土地利用を図り、道路交通網の整備、上下水道の整備、住環境の整備など、生活に密着した快適で安全な居住環境の整備を進めます。



- ・防災・防犯体制や交通安全対策の充実により安全な環境づくりを進める。
- ・一般国道305号のホノケ山トンネル（仮称）早期開通を促進する。
- ・生活道路の整備や維持補修を計画的に実施する。
- ・上下水道の安定供給のための統合や新設改良を行う。
- ・地域住民の移動手段である住民利用バスの充実を図る。
- ・除雪機械の更新や道路融雪装置の整備により克雪対策の充実を図る。

みんなで助け合う優しいまちづくり

誰もが住みなれた地域で安心して自立した生活を送るため、保健・医療・福祉・介護が連携して、健康づくり支援や福祉サービスの提供を行い、人と人が支えあい、心と心がふれあう地域社会の実現をめざします。



- ・健康に対する意識の啓発や健康づくり支援体制の充実を図る。
- ・診療所や老人保健施設の医療機器等の備品を計画的に整備する。
- ・既存の河野保健福祉センターの改修工事を行う。
- ・高齢者や障害者に対する福祉サービスの充実を図る。
- ・今庄保育所と今庄幼稚園の統合による幼児教育施設を整備する。
- ・保育サービス、子育て支援センター活動、児童館活動を充実する。
- ・施設のバリアフリー化やボランティアの育成など地域福祉を推進する。